

第15回情報セキュリティ政策会議にあたっての意見

2007年12月12日

(株)イプシ・マーケティング研究所

代表取締役社長 野原 佐和子

1. CIO 連絡会議等と連携して、セキュリティ・バイ・デザイン(SBD)の取組みを推進

資料2の『『情報セキュリティの観点から見た行政情報システムの望ましいあり方』と『行政情報システムの企画・設計段階からのセキュリティ確保に向けた取組み』について』、情報セキュリティを企画・設計段階から確保する Security by design のための取組みは重要であり、しっかり取り組んでいただきたい。こうした取組みは、民間企業であれば当然実施されていることで、情報システムを構築・運営する際に必要不可欠である。

各府省 CIO 連絡会議「業務・システム最適化指針」との関係配慮しつつ、行政情報システムの企画・要件定義段階から運用・保守段階まで一貫して情報セキュリティを確保するための具体的な方策・取組みを明確化し、各府省庁でノウハウ・情報等を共有することによって、効果的かつ効率的な情報システムの企画・構築・運用を行っていただきたい。

2. 次期情報セキュリティ基本計画は、「実質的改革」への取組みと「企業」「個人」施策の充実を

第一次基本計画は来年度が最終年度なので、目標に掲げている「世界最高水準の情報セキュリティ先進国」に向けて引き続き努力していただきたい。

第一次基本計画は、政府機関統一基準や重要インフラ行動計画の策定等どちらかというと基本的施策を優先して実施したこと、また、「政府組織」と「重要インフラ」に対する施策に重点を置いたことが特徴だと思うが、これに対して、次期基本計画では、政府組織や重要インフラの情報セキュリティ体制に関する実質的改革に力を入れること、そして、「企業」「個人」に関する施策を充実していく必要があるのではないかと。

例えば、政府組織の実質的改革としては、行政情報システムの企画・仕様検討・予算獲得・発注等の業務を行う情報システム担当者及び情報セキュリティ担当者のキャリアパスについての検討等があり、重要インフラの実質的改革としては、重要インフラの各分野間の連携体制・活動が自律的に推進されるような仕組み作り等があるのではないかと。